

登録コード	A3593334	開講年度	2026					
授業科目	専攻演習					担当教員	田中 沙智	
英文授業名	Selected Seminar							
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					免疫学や食品の機能性に関する基礎的な知識・実験手法を習得し、問題解決能力を養い、自身の研究成果についてプレゼンテーションができるようになる。		
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					国際的な視野に立って最新の食品免疫学に関する情報を習得し応用させることで、地域の課題・問題を解決するための研究遂行力を習得できるようになる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					免疫学や食品の機能性に関する基礎的な知識・実験手法を習得し、問題解決能力を養い、自身の研究成果についてプレゼンテーションができるようになる。		
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					国際的な視野に立って最新の食品免疫学に関する情報を習得し応用させることで、地域の課題・問題を解決するための研究遂行力を習得できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	受講生が自身の専攻研究課題に関連する原著論文を検索し、内容をよく理解した上で、他の受講生や教員に対してスライドを用いて説明する。プレゼンテーションの後に、内容全般についての質疑応答を行う。							
(5)授業計画	1．専攻研究テーマの設定 2．テーマに関連した論文の検索・読解 3．論文の紹介と質疑応答							
(6)自主学習の指針	日々、自身の研究テーマに関連する文献の検索を行い、重要論文については目を通して情報を入手すること。							
(7)成績評価の基準	秀:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可:授業の達成目標の水準にある 不可:授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある							
(8)事前事後学習の内容	テーマに関連する基礎知識を身につけるために、専門書などで自主学習する必要があります。また、常に最新の原著論文を検索し、最新のトピックスについても把握しておいてください。							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	発表内容および質疑応答について点数化し、以下の基準で5段階評価する。 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 59以下							
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問・相談は，随時，メール（tanakasa@shinshu-u.ac.jp）で受け付けます．							
(12)履修上の注意	なし							
【教科書】	なし							
【参考書】	なし							